

# 元気萩っ子

平成 26 年 10 月 31 日 (金) 萩ヶ丘小学校 学校通信

安心・安全・きれいな学校で元気な子どもを育てる

なくそういじめ!ふやそう笑顔

仲間と共に思いやりのある行動を みんなの笑顔を大切に

文責 校長 新川 由美子

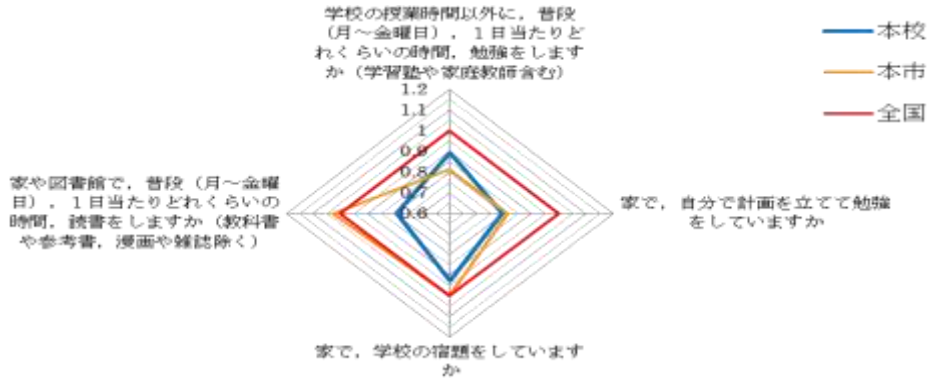
## 全国学力・学習状況調査の結果について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、今回は家庭生活についての結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、本調査により測定できるのは、子どもさんの生活の一部分ですが、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

## その2 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

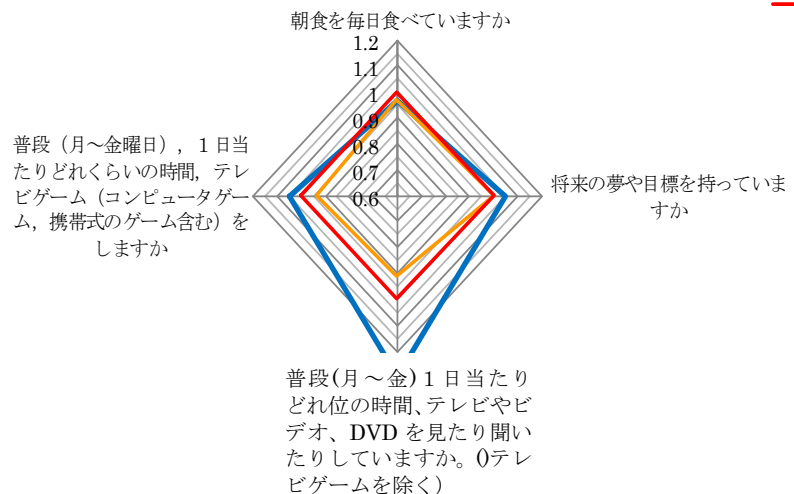
### 1 家庭学習習慣に関する調査結果と分析 (全国平均を1とする)



- ・ 1時間以上家庭学習をしている児童の割合は増えているが、全国と比較すると下回っている。家庭学習の絶対量が少ない。家庭学習の時間の目安である、学年×10分間の取組を進める。家庭学習の仕方を指導する。
- ・ 「宿題を必ずする」と答える児童が全国の70%程度であり、改めて学校からの宿題の取組の大切さと提出することの大切さを教える必要がある。
- ・ 自分で計画して勉強している児童の割合は全国の90%程度であり、自分で考え自主的に学習するような宿題の出し方を考える必要がある。
- ・ 家で1時間以上読書している児童の割合は全国の90%程度であるが、2時間以上読む子どもは全国より高い。読書好きな子どもは多いので、家庭で読書に取り組むようになる手立てを考える必要がある。

### 2 生活習慣等に関する調査結果と分析 (全国平均を1とする)

- ・ 朝食を毎日食べている児童は、全国と比較するとやや上回っている。各家庭が、「早寝・早起き・朝ごはん」を目指して取り組んでいることが分かる。
- ・ テレビ等の接触時間が3～4時間・4時間以上という長時間の子どもたちの割合が全国では38%であるのに対し、本校は48.2%と、約半数の子どもたちである。このメディア接触の時間を減らし家庭学習や家読に当てる必要がある。
- ・ ゲーム等の時間は、2時間以上の児童の割合は減少していたが、4時間以上の児童の割合が増加した。それは全国の2倍近くになる。テレビと合わせメディア接触の時間を減らすことが家庭での生活習慣での最大の課題である。
- ・ 将来の夢や希望をもっている児童は全国と比較すると上回っている。



### 3 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ◎ 発達段階に応じた、本校の生活習慣や学習習慣に関するスタンダードを全職員と保護者のアンケートを元に共通理解のもと作成する。
- ◎ 通信やホームページを通して、各ご家庭に生活習慣や学習習慣を啓発する。
- ◎ 本校の生活習慣や学習習慣を教室や廊下に掲示し、一人一人の児童の意識を高める。
- ◎ 宿題のスタンダード化
  - ・ 家庭学習時間の設定
  - ・ 「家庭学習の約束」の作成・実施
  - ・ 「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用